

# 東奥日報

2019年(平成31年)2月28日(木曜日) (16)

医療用スキャナー、衝突防止車いす…

## 世界最新技術を体感

### 大学生2人 C E S 視察報告

#### 八戸

今年1月、米国で開かれた世界最大の電子機器見本市「CES」を視察した県内大学生2人の報告会が23日、八戸市の八戸ニューポ



CESで知った最新技術について市民らに報告する落合さん

界の最新技術に触れて技術開発への関心を高めるとともに、その経験を地域に還元してもらおうと、県内のIT事業者7社が初めて企画。青森公立大地域みらい学科3年の蛭沢恭子さん

(21)と八戸工業大システム情報工学科2年の落合佳祐さん(20)が、1月8～10日、米ラスベガスのCES会場を見学した。

蛭沢さんは報告会で、下着に着けて心拍数やストレス度を測定できるウェアラブル端末や、携帯できる医療用超音波スキャナーなどヘルスケア分野の機器を紹介。「他国の技術開発は固定概念がなく、日本より優れていると感じた」と述べ

た。落合さんは、四足歩行の宅配ロボットや衝突防止カメラ付き電動車いすなどを報告し、「CESで得た経験を地域に還元できるよう頑張りたい」と語った。(大久保拓地)

※ 「この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」